

平成 28 年度

事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から
平成 29 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

目次

概況	2
I 公益目的事業	
ア. 地域交流事業	2
イ. 助成事業	4
ウ. 相談活動事業	5
エ. 国際協力事業	7
オ. ラジオ番組制作事業	7
カ. 普及活動事業	8
II 収益事業	
ア. 出版事業	9
イ. 物品販売事業	10
III 管理	
1. 会員・寄附金に関する事項	10
2. 委員に関する事項	10
3. 事業報告に関する事項	11
4. 会議に関する事項	11
事業報告附属明細書	13

概 況

平成 28 年度は公益法人会計三基準の向上、とりわけ定期提出書類申請の際に判明した遊休財産超過の是正を目指して事業をおこなった。

「まちおこし活動拡充会議」や「ともいきフォーラム」など、これまで培ってきた財団の活動、経験、人脈を活かした新規事業の開催に至り、公益目的事業費の執行率は平成 27 年度と比較し大きく向上した。

また内部管理においては、組織の再構築に力を入れ、委員会の設置や会議、アンケート等で得た財団への意見を積極的に取り入れ、事業の組み換えをおこなうなど組織体系が強化された 1 年となった。

業務内容や規程の整備についても平成 27 年度に引き続き検討を行い、特に助成事業においては、助成審査委員会の設置・規程の制定など、公正な審査システムの構築に努めた。

なお当年度は 3 年に一度おこなわれる内閣府による立入検査の実施年度に当たり、8 月 30 日に検査がおこなわれた。その際、事前に理事会にて承認いただいた補正予算に基づいて遊休財産超過の是正案を説明し、担当官から理解を得た。

個別事業の平成 28 年度事業結果は以下のとおり。

I 公益目的事業

ア. 地域交流事業

寺院を中心とした公益活動によって、地域住民の交流を促し豊かな地域社会の形成を目指す事業。

本年度は、石見教区（島根県西部）と共同で、東京の増上寺にて石見神楽を公演した。また菩提寺大イチョウコンサート（岡山県奈義町）など、自治体との協働も行った。その他 NPO 法人との協働によりネットワークの拡大、認知度の向上に努めた。

(1) アンケート調査の実施および報告

当財団の今後の活動方針を検討するにあたり、これまでの経験を踏まえながら、当財団がどのような活動をしていくことが、浄土宗僧侶の期待に応えられるかを考えるために、全国の浄土宗寺院にアンケート調査を実施した。

内 容：浄土宗僧侶の活動調査、浄土宗ともいき財団について

実施日：平成 28 年 6 月 9 日～12 月 31 日

対 象：全国の浄土宗寺院住職（正住のみ）5,498 ヶ寺

回 収：回収数 913 件、回収率 16.6%

制 作：中間報告書（9 月）、最終報告書（3 月）

(2) 僧侶・寺庭婦人向けセミナーの実施

(1) のアンケート調査に回答していただいた方のうち全教区から各 1 名を招待し、今後のまちおこし活動について意見を求める会議を行った。

開催名：まちおこし活動拡充会議

実施日：平成 29 年 2 月 16～17 日（木・金）

場 所：大本山増上寺 慈雲閣（東京都港区）

① グループ協議

② グループ発表

③ 全体会議

参加者数： 38 名

(3) 公開セミナーの実施

「ともいきフォーラム」を開催し、いま日本の家族はどうなっているのか？をテーマに生命誌、霊長類、宗教・哲学の分野から識者を招き、講演とパネルディスカッションを行った。一般市民を中心に参加者を募り、芝学園が協力、読売新聞社が後援となった。また下記新聞社に開催記事が掲載された。

開催名：第1回 ともいきフォーラム

実施日：平成29年3月4日（土）15：30～17：30

場 所：芝学園 講堂（東京都港区）

内 容：「家族とは？ ～わかち合いの心～」

- ① 講演 講師：山折 哲雄（宗教学者）・中村 桂子（JT生命誌研究館 館長）・山極 壽一（京都大学第26代総長）
- ② パネルディスカッション パネラー：山折 哲雄・中村 桂子・山極 壽一
コーディネーター：戸松 義晴

参加者数：200名

記事掲載：読売新聞（2017年3月11日付）

週刊仏教タイムス（2017年3月16日・23日付合併号）

中外日報（2017年3月8日付）

(4) ともいきプロジェクト

地域社会の活性化に寄与することを目的とした催しの実施および協働。主に過疎地域の寺院に対し、地域活性化を図る催しを提案、イベント開催を支援した。中には寺院・団体との協働で実施し、コーディネーターとして企画立案から関わるものもあった。

- ① 出前寺子屋（講師紹介・広報） 全国各地9ヶ所で開催
- ② ともいき日高プロジェクト（企画・広報・資金協力）和歌山・日高地方
「日高念仏大法会2016」平成28年11月13日（5ヶ年計画3年目）
- ③ 願海庵祭り（企画・手配・人材派遣）岩手・二戸市 平成28年10月9日
- ④ 菩提寺大イチョウコンサート（企画・講師紹介・広報・資金協力）岡山県奈義町
平成28年8月6日、平成28年10月30日
- ⑤ 寺社フェス「向源」東京（出展） 平成28年5月5日
- ⑥ 石見祭り（企画・広報・資金協力）島根・石見地方 平成28年9月4日
- ⑦ 石見教区巡礼コンサート（企画・広報・資金協力）島根・石見地方
平成28年10月11～13日
- ⑧ 社会慈業委員会「ひとさじの会」との協働（資金協力）東京

(5) 被災地対象

被災地の復興支援に取り組む浄土宗教師からの求めに応じ、事業協力を行った。

・親子で行こう！田植え・稲刈り体験ツアー（共催・企画・資金及び人材協力）

田植え：平成28年5月21日～22日（福島県西会津地方）参加者：30名

稲刈り：平成 28 年 10 月 1 日～2 日（福島県西会津地方）参加者：24 名

・支援者サポートプログラム@熊本

熊本地震発生を受け、熊本教区浄土宗青年会の要請により、被災地支援に関する研修と仮設住宅での支援活動に協力をおこなった。

研修会開催協力：平成 28 年 9 月 2 日（火の国ハイツ 本館 2 階「瑞鳳」）

支援活動協力：①平成 28 年 11 月 17 日（益城町木山仮設団地北集会場）

② 平成 29 年 1 月 10 日（益城町木山仮設団地北集会場）

③ 平成 29 年 2 月 13 日（益城町木山仮設団地北集会場）

④ 平成 29 年 3 月 15 日（益城町木山仮設団地北集会場）

(6) 協力活動

公益活動を行う団体等と交流を深め、相互の連携と協力関係の構築に努めた。なお、第 5 回懇話会は、読売新聞（2016 年 12 月 19 日付）に記事が掲載された。

(1) 「ともいき懇話会」開催

開催日：第 4 回 平成 28 年 6 月 29 日 テーマ「看取り」——どうしたら安心して死ねるか。
そこに僧侶はどうかかわれるか

第 5 回 平成 28 年 12 月 12 日 テーマ「生殖補助医療（いのちの誕生）の諸問題
～宗教界、メディア界は何ができるか～」

<懇話会メンバー>

代表	山折 哲雄	(宗教学者)
発起人	老川 祥一	(読売新聞グループ最高顧問・主筆代理)
発起人	豊岡 鎌尔	(浄土宗宗務総長)
発起人	袖山 榮眞	(浄土宗ともいき財団理事長)
	川良 浩和	(作家・プロデューサー)
	北村 敏泰	(中外日報社常務取締役編集局長)
	小林 敬和	(公益財団法人読売日本交響楽団理事長)
	真田 和義	(毎日新聞常務執行役員)
	宮川 匡司	(日本経済新聞文化部編集委員)
	森本 俊司	(朝日新聞大阪本社事業部)

イ. 助成事業

国内外における公益活動やボランティア活動など仏教精神に基づく社会貢献活動において、その活動の実施主体者である浄土宗寺院・関係団体から申請があった場合、その資金の全部または一部を助成し「寺院を通じた社会貢献活動」を推進する事業。また災害発生時には、災害に対するボランティア活動支援を行う浄土宗寺院・関係団体に援助を行う。

審査は募集要項・選考基準に基づいて厳正に行い、助成先に対しては中間及び結果報告を求めた。

【28年度助成団体】17件

助成先団体名	活動名	助成金額
風のガーデンの会	ハッピーエンドの迎え方	¥100,000
大雲寺	大雲寺サラナ親子教室「雲の会」	¥100,000
極楽寺	石切亭ごくらくらくごの会	¥100,000
西蓮寺	「織田瑟瑟桜画」でまちづくり	¥100,000
西光寺	点字のお経に関する製作と情報共有	¥120,000
應典院寺町倶楽部	キッズ・ミート・アート2016	¥100,000
圓浄寺	縁JOYおてら	¥100,000
慶恩寺	菩薩と歩む夢行道と稚児行列	¥100,000
近龍寺	仏教耕心講演会 併修 出開帳	¥100,000
善立寺	尺八と箏のコラボコンサート	¥100,000
正福寺	ともいきの集い(十夜法要併修)	¥80,000
社会福祉法人平安安養育院	わらべホームサラナでの子育て支援事業 (食生活と行事)	¥250,000
西福寺	ピラティス道場	¥100,000
長昌寺	てらこやフェスタ	¥100,000
自死・自殺に向き合う僧侶の会	自死予防、自死遺族者のケア(手紙相談)	¥175,000
おてらおやつクラブ	貧困対策、母子家庭支援	¥300,000
介護者サポートネットワーク・ ケアむすび	介護者支援事業	¥210,000

(2) 助成事業に関する意見交換会

目的：今後の事業全体の活動指針を検討するにあたり、これまでの経験を踏まえながら、当財団がどのような活動をしていくことが、浄土宗寺院、僧侶の期待に応えられるかを検討するために、平成28年度当助成団体を招集し、助成事業についてご意見をもらう意見交換会を開催した。

日時：平成29年3月6日 13:00～16:00 参加者：14名

テーマ：ともいき財団の助成金制度に対するご要望・ご意見

ウ. 相談活動事業

仏教精神に基づく相談活動とその人材育成を行う事業。電話相談室の運営、東日本大震災遺族の心のケア支援、各種研修会の開催による相談員の拡大に努めた。

A. 相談活動

(1) 心といのちの電話相談室 毎週月・金曜日 10時～16時受付(計91日)

相談員数：各回3人体制 総数28名(平成29年3月31日時点)

相談件数：年間1,039件(1日平均11.4件)

その他：相談員規程・ガイドライン等の整備、広告掲載、記事掲載

(2) 心のケア支援活動@石巻 ※東日本大震災被災地支援活動

実施日：4/11、6/11、9/11、11/11、12/11、1/11、3/11、3/12（計8回）

支援スタッフ数：各月4名（支援スタッフ3名、財団職員1名）

会場：宮城県石巻市・西光寺

対象人数：10名前後（月によって変動あり）

支援スタッフ総数：9名（平成29年3月31日時点）

(3) 心のケア支援活動@気仙沼 ※東日本大震災被災地支援活動

実施日：2/10、2/11

支援スタッフ数：6名（支援スタッフ5名、財団職員1名）

会場：2/10・宮城県気仙沼市・鹿折中学校仮設住宅集会所、2/11・浄念寺客殿

対象：2/10・宮城県気仙沼市・鹿折中学校仮設住宅居住者 約30名、

2/11 浄念寺奉賛会会員 約15名

B. 人材育成

(1) 電話相談追加研修

目的：相談現場で活動する人物を講師として招き、現相談員のスキルアップを図った

日時：第1回 平成28年5月13日 14:00～17:00 参加者：6名

テーマ：自己生成プロセスワークによる自己観察

第2回 平成29年3月8日 14:00～17:00 参加者：12名

テーマ：「自分を知る」ことと電話相談

(2) 電話相談振り返り

目的：相談員が受けた相談の内容や対応方法について振り返り、相談員の疑問や対応の問題点等について全員で話し合い、解消方法を探った。

日時：第1回 平成28年4月27日 15:00～17:00 参加者：13名

第2回 平成28年5月25日 15:00～17:00 参加者：10名

第3回 平成28年6月29日 15:00～17:00 参加者：11名

第4回 平成28年7月27日 15:00～17:00 参加者：12名

第5回 平成28年8月31日 15:00～17:00 参加者：9名

第6回 平成28年9月28日 15:00～17:00 参加者：10名

第7回 平成28年10月19日 15:00～17:00 参加者：10名

第8回 平成28年11月30日 15:00～17:00 参加者：12名

第9回 平成28年12月21日 15:00～17:00 参加者：15名

第10回 平成29年1月25日 15:00～17:00 参加者：5名

第11回 平成29年2月22日 15:00～17:00 参加者：10名

第12回 平成29年3月29日 15:00～17:00 参加者：9名

(3) 被災地支援活動スーパービジョン

目的：平成23年から現在までにおこなってきた財団の被災地支援活動に参加した経験のある人物のケア。

日時：平成29年3月16日 13:00～17:00 参加者：10名

(4) 寺庭婦人研修会@大分

目的：大分教区寺庭婦人会の依頼により、普段の生活における檀信徒との接し方、檀信徒が持ち込む悩みの聞き方など電話相談で得た知識を交え講演を行った

日時：平成 29 年 1 月 19 日（杉乃井ホテル）

エ. 国際協力事業

主にアジア仏教圏に対し寺子屋（政府認定の小学校）建設のための経済支援を行う事業。

平成 28 年度は主に各寺子屋の現地調査と給食支援等のソフト面での支援を実施した。また、4 回目「ミャンマー祭り」に参加した。

A. 国際支援活動

主にアジア仏教圏での青少年の健全な育成・発展を支援する事業。

(1) 校舎建設への経済的支援・既存校舎の修繕・現地調査

本年度は校舎建設・修繕は実施していないが、建設後 10 年以上経過している校舎もあるため、全校舎の現在の状態と生徒たちの現状の調査を行った。

(2) 給食支援・保健指導・NPO との協力による教育プログラムの提供

・給食支援 平成 29 年 1 月 26～2 月 3 日

(第 2、3、6、7、10、11 校目、その他 3 校) 計 9 校 3,305 名

藤木事務局長がミャンマーに赴き、給食支援と寺子屋に通う生徒からサンクスカードを預かり、支援者に届ける活動を実施した。本年度は特にフェイスブックで発信の頻度を上げた。

・ミャンマーBOOK&TOY100 平成 28 年 1 月（1 月 26 日：寄贈式実施）

ミャンマー祭りで協力関係を構築した NPO 法人ブリッジ・エーシア・ジャパン及び東京おもちゃ美術館との協働でミャンマーの寺子屋に図書棚と図書、おもちゃを寄贈するプロジェクトを実施。クラウドファンディングによる募金活動に協力し、全国浄土宗寺院に協力を呼びかけた。

(3) 災害時における緊急支援

実施なし

B. 国際交流活動

海外の宗教団体や非営利団体と交流し、双方向での情報発信と協力関係の構築に努める。

(1) 「ミャンマー祭り 2016」の開催 平成 28 年 11 月 26 日～27 日

[主 催] ミャンマー祭り実行委員会

(浄土宗ともいき財団・NPO 法人メコン総合研究所・駐日ミャンマー大使館等が参加)

[会 場] 浄土宗大本山 増上寺 [来場者] 46,000 人

オ. ラジオ番組制作事業

実施なし。

カ. 普及活動事業

「寺院を通じた社会貢献」に対する理解を深め、公益活動の広まりを目指す事業。

本年度は特に、インターネットによる普及活動を強化し、ホームページでの情報公開、Facebook、TwitterといったSNSやサイトを積極的に活用した。特にFacebookでは、隔週で「ともいき」に関するエッセイを掲載し、幅広い世代へ理念を伝えるよう努めた。またイベント開催広告もWEBを活用した。

A. 協力活動

公益活動を行う団体等との交流を深め、相互の連携と協力関係の構築に努める。

(1) 広告出稿

- ・浄土宗新聞 電話相談室案内（隔月）
- ・フリースタイルな僧侶たち（フリーペーパー） 電話相談室案内（通年）

B. 印刷物等

地域交流事業		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H28. 6	石見まつりチラシ 700部 上記ポスター 200部	石見教区 同上
H28. 6	アンケート調査 5,500部	全国浄土宗寺院※
H28. 7	日高念仏大法会チラシ 5,500部 上記ポスター 400部	和歌山教区日高組 同上
H28. 8	石見の国いきいき巡礼コンサートチラシ 1,600部 上記ポスター 100部	石見教区 同上
H28. 9	隠岐の島コンサートチラシ 5,000部 上記ポスター 20部	出雲教区善立寺 同上
H28. 9	アンケート結果中間報告書 6,000部	全国浄土宗寺院※
H28. 9	石見まつりチラシ 7,500部	「宗報」同封
H28. 11	日高念仏大法会チラシ 7,500部	「宗報」同封
H29. 1	ともいきフォーラムチラシ 28,500部 上記ポスター 1,130部	「宗報」同封 関東4教区寺院 (埼玉、東京、千葉、神奈川) 心光院の檀信徒 芝学園関係者など
H29. 3	財団活動報告書（地域交流事業）	「宗報」同封
H29. 3	アンケート結果最終報告書 6,000部	全国浄土宗寺院※

物品販売事業		
発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H28. 7	法然上人散華チラシ 7,100部	「宗報」同封

管理

発行月	印刷物内容（部数）	主な配布先
H29.2	会報誌「ともいき MEMBER' S」 vol.3 1,500部	当財団会員

※全国浄土宗寺院は、財団から直接メール便にて発送しています。

C. インターネット

(1) ホームページの運営

- ・オンライン寄付、グッズ申し込みの運営
- ・最新イベント等の情報発信
- ・電話相談室、助成申請等の情報掲載
- ・ともいきを考える「ともいきエッセー」の掲載
- ・浄土宝暦の一般公開（一部）

(2) SNS（Facebook、Twitter）の運営

- ・イベントの集客PR（有料広告の活用）…投稿数1件 リーチ数2,831人
- ・活動の告知・報告…投稿数81件 総リーチ数30,467人
- ・協力団体との情報共有

※リーチ数とは、どれだけの人がある記事に到達したかということ。

(3) プレスリリース

- ・インターネットを活用したプレスリリース配信
- ・PR情報サイトへのイベント等の投稿

II 収益事業

ア. 出版事業

日本の文化・行事などに根差した仏教精神を知らしめるための書籍「浄土宝暦」の出版を行った。本年度は全面改訂を実施し、昨年度より減少傾向にあった販売部数が増加した。また、各寺院のパンフレットを受注、製作し寺院の広報として販売した。

A. 書籍の制作

- ・平成29年版浄土宝暦の制作
- ・寺院・教区パンフレット制作

B. 書籍の販売

- ・平成29年版浄土宝暦の販売
見 本：7,500部
売上部数：340,000部（単価90円）
- ・寺院・教区パンフレットの販売

イ. 物品販売事業

劈頭宣言普及のためのグッズ販売を行った。

- ・法然上人スゴロクの販売

売上部数：30部

- ・法然上人散華の販売

販売の方式として50枚1組・各絵柄10枚ずつの「セット」と、5枚1組・各絵柄1枚ずつの「バラ」の二種がある。

売上部数：第一弾…セット：50組 バラ：202組 封筒：325部

第二弾…セット：42組 バラ：0組 封筒：215部

Ⅲ 管 理

1. 会員・寄付金に関する事項

宗の内外を問わず広報を行い、会員数および寄付金の増加を目指した。

税額控除対象法人として認可を受けたことを会員募集広告・パンフレット等にてアピールし、会員獲得に努めた。

(1) 平成28年度会員数

正会員：	342名	(内 未収 29名)
応援会員：	19名	(内 未収 2名)
法人会員：	26法人	(内 未収 1法人)

合計： 361名+26法人

(2) 会費と特典

個人会員 ①正会員 (1口 10,000円)

②応援会員 (1口 3,000円)

法人会員 (1口 50,000円)

※1 会員はすべて税制上の優遇措置が受けられる。

※2 会員には会報誌を発送する。

※3 浄土宗教師には功績点を付与。

2. 委員に関する事項

平成28年5月24日開催の第11回理事会において、「心といのちの電話相談室運営委員会」の設置が決議され、次の通り委員が選任された。

(新任) 伊藤祐子、尾崎佳江、原善順、戸田由美、渡邊激洋

3. 事業報告に関する事項

平成28年6月30日付で内閣府に平成26年度の計算書類及び事業報告並びに附属明細書を提出した。

4. 会議に関する事項

(1) 理事会

開催場所	審議事項	結果
第11回理事会		
H28.5.24 第1会議室	1. 平成27年度事業報告及び附属明細書の件 2. 平成27年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の件 3. 平成28年度予算の補正の件 4. 心といのちの電話相談室運営委員会の設置及び規定の制定 5. 第8回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決
第12回理事会		
H28.9.13 第1会議室	1. 平成28年度予算の補正の件 2. 変更認定申請の件 3. 定款、諸規程の改定及び制定 4. 第9回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 5. 平成28年度第1回助成団体選考の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 委員会に付託
第13回理事会		
H29.1.23 第1会議室	1. 平成29年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件 2. 諸規程の制定及び改定の件 3. 第10回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決

(2) 評議員会

開催場所	審議事項	結果
第8回評議員会		
H28.6.8 第1会議室	1. 役員選任の件 2. 平成27年度事業報告及び附属明細書の件 3. 平成27年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の件 4. 平成28年度予算の補正の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決 原案通り承認可決
第9回評議員会		
H28.10.31 決議の省略	1. 平成28年度予算の補正の件 2. 「定款」、「役員及び評議員報酬等規定」一部改定の件	原案通り承認可決 原案通り承認可決
第10回評議員会		
H29.1.23 第1会議室	1. 定款の変更の件 2. 役員及び評議員報酬等規程の改定	原案通り承認可決 原案通り承認可決

	3. 平成 29 年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件	原案通り承認可決
--	------------------------------------------	----------

(3) 委員会

開催日	委員会名	審議事項
H28. 9. 9 第 1 応接室	助成審査委員会	1. 事務局評点の確認及び修正 2. 採否判定ラインとなる点数の設定 3. 助成先団体の決定 4. 交付額の配分率の決定
H28. 7. 21 第 1 会議室	平成 28 年度第 1 回心といのちの電話相談室 運営委員会	1. 規程について
H28. 9. 28 第 1 会議室	平成 28 年度第 2 回心といのちの電話相談室 運営委員会	1. 全体会議について 2. 研修について 3. その他報告・検討事項
H29. 1. 10 第 1 応接室	助成審査委員会	1. 事務局評点の確認及び修正 2. 採否判定ラインとなる点数の設定 3. 助成先団体の決定 4. 交付額の配分率の決定

平成 28 年度事業報告 附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月
公益財団法人 浄土宗ともいき財団